

<発行>

核兵器廃絶をめざす
富山医師・医学者の会

☎ (0764) 42-8000

核兵器廃絶をめざす 富山医師・医学者の会 会報

核戦争の危機なくなるまで努力を

145名 会員

結成総会ひろく

核兵器廃絶へ医師として可能な努力を——「核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会」の結成総会が七月十六日に開催されました。総会には、四三名が参加、会則、活動計画、役員などが決められました。

世話人 佐々 学先生
代表に

結成にあたって、六月に佐々学、片山喬、中瀬真一、品川俊男、深山正之、村田

巧の六氏が呼びかけ人となり「設立発起人」を募ったところ、十五人の医薬大教



開会の辞を述べられる佐々学先生
(7/16, 名鉄トヤマホテルにて)

授や公的病院長、医科・歯科の開業医、勤務医など一〇一名が「発起人」を承諾。七月五日には、十八名の参加で「設立発起人の集い」が開催され、結成総会への提案事項などが協議されました。

結成総会はマスコミ各社が取材に来るなど、社会的にも注目され、名鉄トヤマホテルで開かれました。

開会の辞で、佐々学先生は、「この狭い地球で人間同志が武器で殺しあい、ましてや核兵器を使うなどと考えているということは、全く愚かしいこと。この会は、思想信条を超えて純粋な気持ちから結成された。また、県内の医師・医学者の交流の場となれば」と述べられました。

議長に品川俊男先生を選び、経過報告を中瀬真一先

生がされた後、核戦争防止石川医師の会代表世話人の登谷栄作先生が来賓挨拶をされました。太田真治先生が各県の同主旨の会、県内署名人からの祝電・メッセージを紹介。

議事では、高野昇治先生が会則案、田中悌夫先生が活動計画案、小熊清史先生が予算案をそれぞれ提案、採択しました。

また、役員の選出は、片山喬先生が提案、十六人の世話人を承認。なお、初代・世話人代表には、佐々学先生が選出されました。

最後に滝邦彦先生が提案された「総会宣言」を採択しました。

終了後、「核兵器をなくす運動と医師の役割」と題して記念講演会が開催されました。自らも被爆者で、その後医師として、核兵器廃絶の運動に尽力されている、講師の肥田先生の被爆体験を混えた説得力ある話に、参加者は一層、核兵器がなくなるまで医師・医学者が率先して努力を……との思いを強くされたようでした。